

AWS Black Belt Online Seminar

Reserved Instances

Yuki Kasuya / 加須屋 悠己

Technical Account Manager

2025/10



自己紹介

Yuki Kasuya / 加須屋 悠己

アマゾンウェブサービスジャパン
Technical Account Manager



Digital Native Business のお客様を中心に支援しています

好きな AWS サービス : AWS Support

本セミナーの対象者

- Reserved Instances の概要や購入方法を知りたい方
- Reserved Instances の購入計画を立てたい方
- データベースなどのワークロードのコスト最適化を促進したい方

アジェンダ

1. Reserved Instances 概要

2. 購入・設定

3. 購入計画

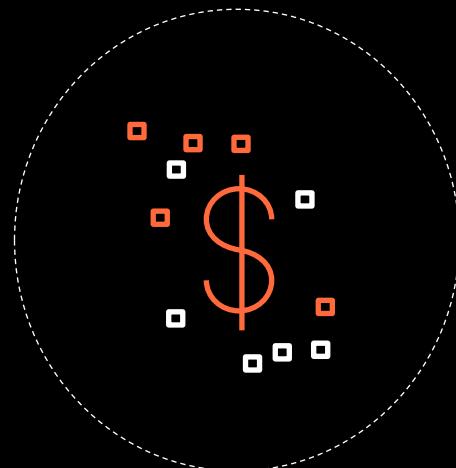
4. 購入後のモニタリング

5. 制限・注意事項

6. まとめ

Reserved Instances 概要

Reserved Instances とは



SAVINGS PLANS

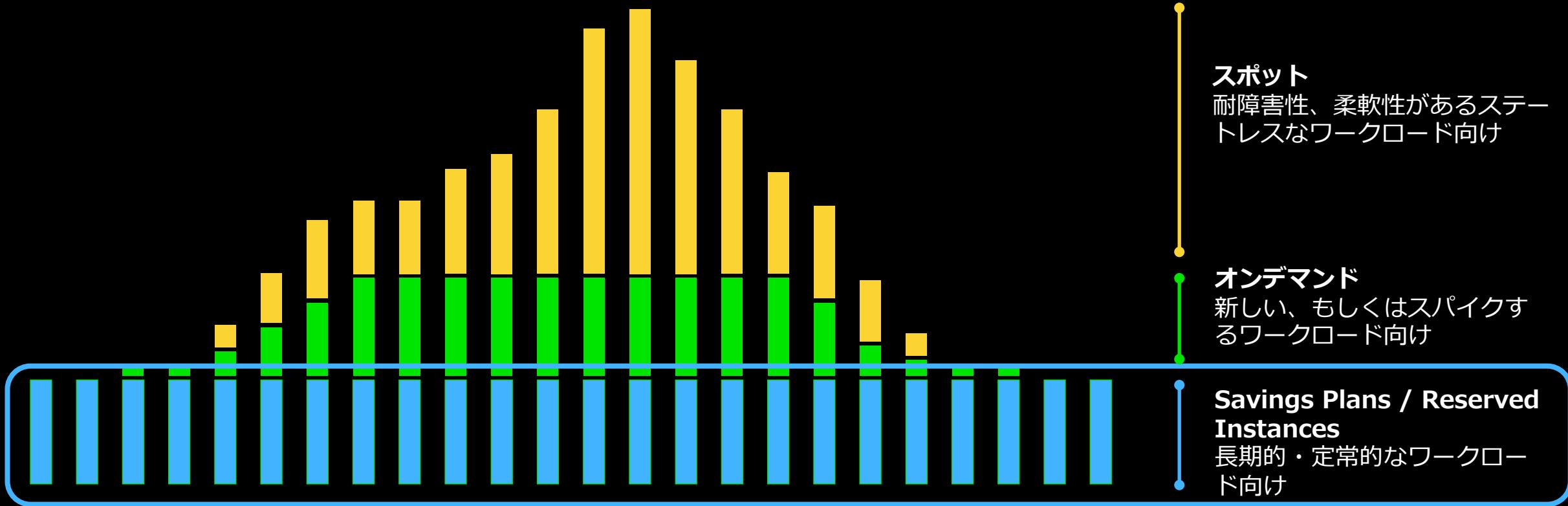
Compute (EC2, Fargate, Lambda) および SageMaker に適用可能な柔軟なコミットメントベースのディスカウントプラン



RESERVED INSTANCES

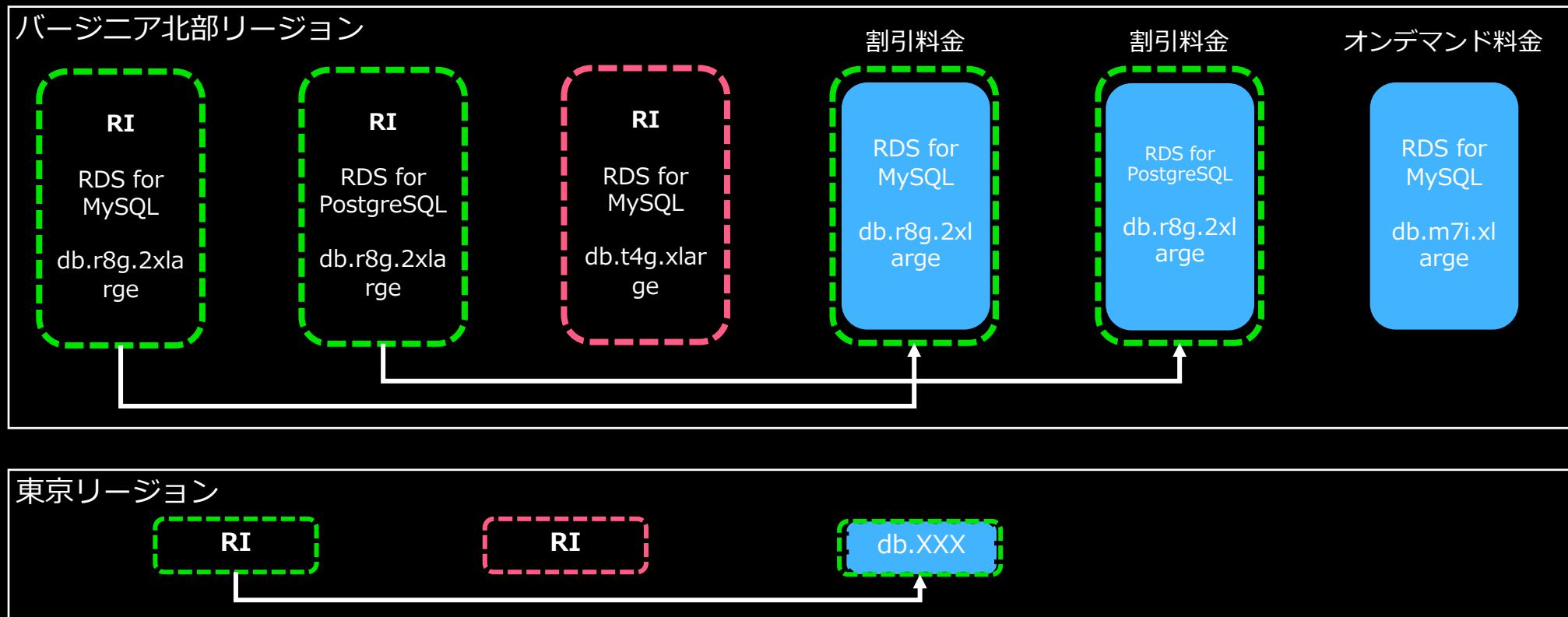
EC2, RDS など複数のサービスに適用可能な一部柔軟性に制限のあるコミットメントベースのディスカウントプラン

Reserved Instances に適したワークロード

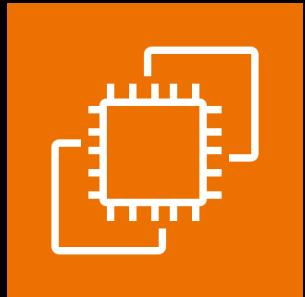


適用の仕組み

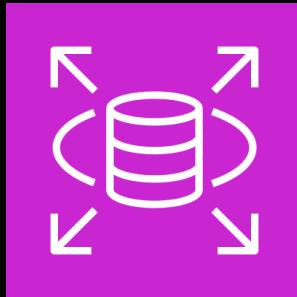
Reserved Instances と条件が一致したリソースへ自動的に適用されます。
Reserved Instances が適用されたリソースは割引料金で利用できます。



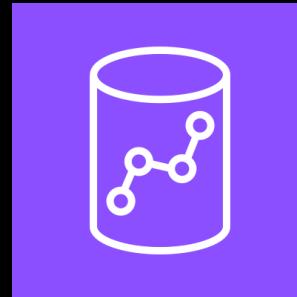
Reserved Instances 対象サービス



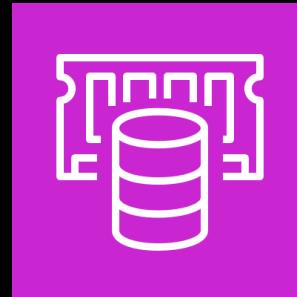
Amazon EC2



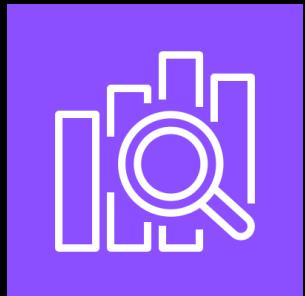
Amazon RDS



Amazon Redshift



Amazon ElastiCache



Amazon OpenSearch Service



Amazon Aurora

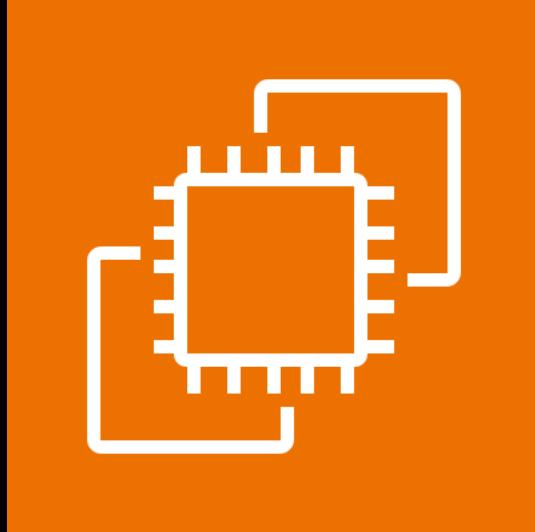


Amazon DynamoDB



Amazon MemoryDB

Amazon EC2 Reserved Instances



期間	1 年 または 3 年
支払いオプション	前払いなし、一部前払い、全額前払い
スコープ	リージョナル RI、ゾーン RI
タイプ	スタンダード RI、コンバータブル RI
インスタンスタイプ [†]	インスタンスタイプ（ファミリー・サイズ）の指定が必要
サイズの柔軟性	リージョナル RI であり
キャパシティ予約	ゾーン RI にキャパシティ予約の機能あり

Savings Plans のご利用を推奨しております。
Savings Plans の詳細は [Black Belt](#) をご確認ください。

Amazon EC2 Reserved Instances スコープ

	リージョナル RI	ゾーン RI
キャパシティーを予約する機能	キャパシティーは予約されません（ただし、ODCR と併用可能です）	指定されたアベイラビリティーゾーンでキャパシティーが予約されます
アベイラビリティーゾーンの柔軟性	指定するリージョン内のすべてのアベイラビリティーゾーンにおけるインスタンスの使用に対して、リザーブドインスタンス 割引が適用されます	指定したアベイラビリティーゾーン内ののみのインスタンスの使用に対して適用されます
インスタンスサイズの柔軟性	インスタンスファミリー内のインスタンスの使用に対して、サイズを問わず、リザーブドインスタンス 割引が適用されます。 Amazon Linux/Unix リザーブドインスタンス のデフォルトテンキーのみでサポートされます	インスタンスサイズの柔軟性なし
購入をキューに入れる	キューに入れることができます	キューに入れることはできません

Amazon EC2 Reserved Instances タイプ

	スタンダード	コンバーティブル
期間	1 年、3 年	1 年、3 年
Reserved Instances の変更	一部の属性は変更できます	一部の属性は変更できます
Reserved Instances の交換	交換できません	期間内で、インスタンスファミリー、などの属性が別のコンバーティブル Reserved Instances に交換することができます
Marketplace での販売・購入	販売・購入可能です	販売・購入できません
従量制割引（ボリュームディスカウント）	適用されます	適用されません

Amazon EC2 Reserved Instances 変更

変更可能な属性	サポートされているプラットフォーム	制約事項と考慮事項
アベイラビリティーゾーン (同一リージョンのみ)	Linux と Windows	-
スコープ (アベイラビリティーゾーンからリージョンに、またはその逆への変更)	Linux と Windows	<ul style="list-style-type: none">ゾーン RI からリージョナル RI への変更 スコープをアベイラビリティーゾーンからリージョンに変更すると、キャパシティ予約のメリットが失われますリージョナル RI からゾーン RI への変更 スコープをリージョンからアベイラビリティーゾーン変更すると、アベイラビリティーゾーンの柔軟性とインスタンスサイズの柔軟性（該当する場合）が失われます
インスタンスサイズ（同じインスタンスファミリー や世代のみ）	Linux/UNIX のみ	予約ではデフォルトのテナントを使用する必要があります。使用できる他のサイズがないため、一部のインスタンスファミリーはサポートされません

変更

- https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/ri-modifying.html

交換

- https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/ri-convertible-exchange.html



その他の特徴（従量割引・Reserved Instance Marketplace）

従量割引

- https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/concepts-reserved-instances-application.html#reserved-instances-discounts

Reserved Instances 総計	前払い料金割引	時間単価割引
500,000 USD 未満	0%	0%
500,000～4,000,000 USD	5%	5%
4,000,000～10,000,000 USD	10%	10%
10,000,000 USD 以上	お問い合わせ	お問い合わせ

Reserved Instance Marketplace での販売

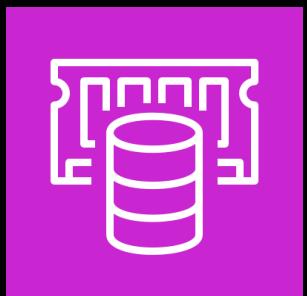
- https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/ri-market-general.html

各サービスの Reserved Instances



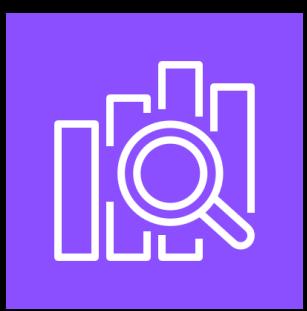
共通項目

期間	1年または3年
支払いオプション	前払いなし、一部前払い、全額前払い
インスタンスタイプ	ファミリー・サイズの指定が必要 (db.r5.large など)



RDS / Aurora / ElastiCache / MemoryDB

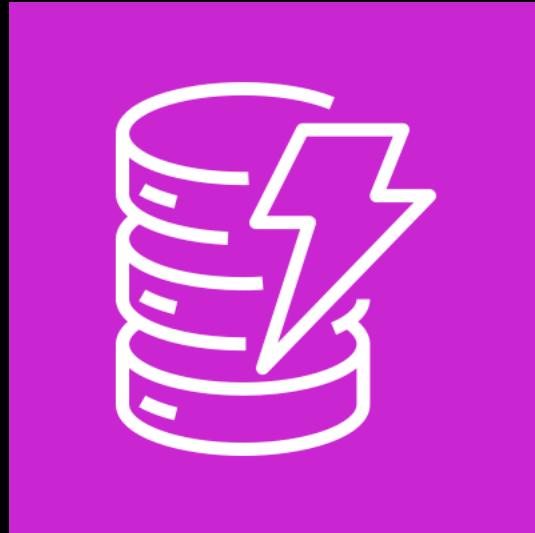
サイズの柔軟性	あり
エンジン、エディション、ライセンス	指定が必要



Redshift / OpenSearch Service

サイズの柔軟性	なし
---------	----

DynamoDB Reserved Capacity



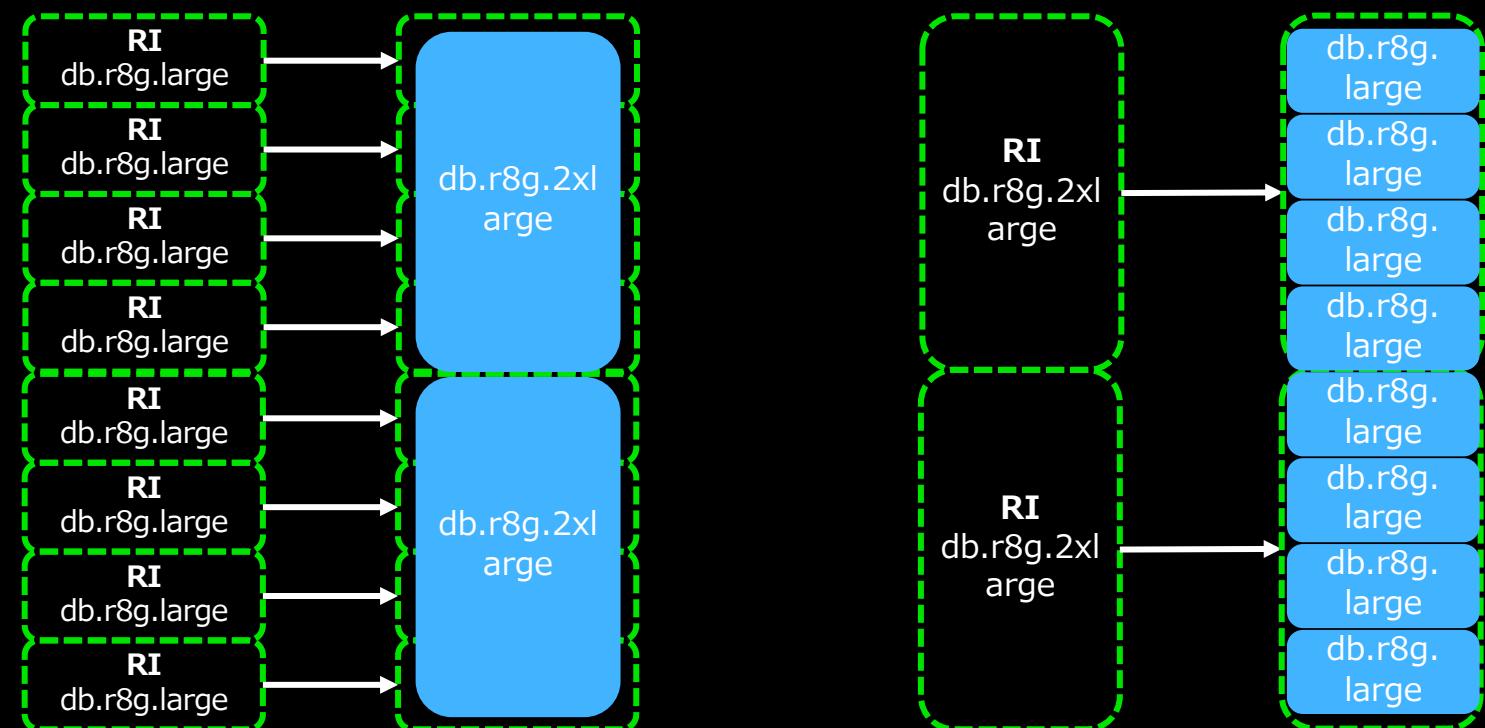
期間	1 年 または 3 年
タイプ	RCU / WCU
購入単位	100 RCU / 100 WCU
テーブル	Standard のみ
容量モード	Provisioned のみ

サイズの柔軟性

サイズの柔軟性とは、同じ条件（リージョン・エンジン・インスタンスファミリーなど）の異なるサイズに対して自動的に Reserved Instances が適用される仕組みです。

- 例えば、8 台分の db.r8g.large Reserved Instances を購入し、2 台の db.r8g.2xlarge DB インスタンスを実行しているとします。この場合、2 台の 2xlarge DB インスタンスに適用されます

インスタンスサイズ	正規化係数
micro	0.5
small	1
medium	2
large	4
xlarge	8
2xlarge	16
4xlarge	32
6xlarge	64
8xlarge	64



Amazon RDS Reserved Instances 柔軟性

インスタンスサイズ	シングル AZ 1 時間あたりの正規化された単位	マルチ AZ DB インスタンス 1 時間あたりの正規化された単位	マルチ AZ DB クラスター 1 時間あたりの正規化された単位
micro	0.5	1	1.5
small	1	2	3
medium	2	4	6
large	4	8	12
xlarge	8	16	24
2xlarge	16	32	48
4xlarge	32	64	96
6xlarge	48	96	144
8xlarge	64	128	192

- 柔軟性は一部のエンジンのみで適用されます (RDS for MariaDB, RDS for MySQL, RDS for Oracle (Bring-Your-Own-License), RDS for PostgreSQL)
- マルチ AZ DB クラスターの場合は、シングル AZ 3 台分もしくは マルチ AZ 1台 + シングル AZ 1台分が必要になります

Amazon Aurora Reserved Instances 柔軟性

インスタンスサイズ	1 つの DB インスタンスの 1 時間あたりの正規化された単位 Aurora Standard	1 つの DB インスタンスの 1 時間あたりの正規化された単位 Aurora I/O-Optimized	3 つの DB インスタンス (ライターと 2 つのリーダー) の 1 時間あたりの正規化された単位、Aurora Standard	3 つの DB インスタンス (ライターと 2 つのリーダー) の 1 時間あたりの正規化された単位、Aurora I/O-Optimized
small	1	1.3	3	3.9
medium	2	2.6	6	7.8
large	4	5.2	12	15.6
xlarge	8	10.4	24	31.2
2xlarge	16	20.8	48	62.4

- 柔軟性は Aurora MySQL, Aurora PostgreSQL で適用されます
- Aurora Standard と Aurora I/O-Optimized 両方適用されます、ただし、Aurora I/O-Optimized では、1時間あたりの正規化ユニットの消費量が Aurora Standard より 30% 増えます
 - 例：Aurora I/O-Optimized では、xlarge 5 台 ($10.4 * 5$) で 52.0 必要になるため、RI としては、2xlarge 3 台 ($16 * 3$) + large 1 台 ($4 * 1$) の 52.0 を購入します

Amazon ElastiCache Reserved Nodes 柔軟性

ノードサイズ	Redis OSS または Memcached で正規化されたユニット	Valkey で正規化された単位
micro	0.5	0.4
small	1	0.8
medium	2	1.6
large	4	3.2
xlarge	8	6.4
2xlarge	16	12.8
4xlarge	32	25.6

- 柔軟性は Redis OSS, Memcached, Valkey で適用されます
- Redis OSS の Reserved Instances は Valkey へ適用できます (**逆は適用されません**)

Amazon MemoryDB Reserved Nodes 柔軟性

ノードサイズ	正規化された単位 (Redis OSS)	正規化された単位 (Valkey)
small	1	0.7
medium	2	1.4
large	4	2.8
xlarge	8	5.6
2xlarge	16	11.2
4xlarge	32	22.4
6xlarge	48	33.6
8xlarge	64	44.8

- Redis OSS の Reserved Instances は Valkey へ適用できます（逆は適用されません）

支払いオプション

Reserved Instances は、3 種類の方法のいずれかから選択してお支払いいただくことができます。それぞれ支払いタイミングや割引率が異なりますので状況に応じてご選択ください。

	全額前払い	一部前払い	前払いなし
Reserved Instances 開始時の支払い	期間全体の料金を一括で前払い	Reserved Instances の一部について前払い	なし
毎月の支払い	なし	残金を月額費用として支払い	月額費用として支払い
割引率	高	中	低

割引共有

Reserved Instances の割引は組織内のアカウントで共有することができます。

アカウント A とアカウント D で Reserved Instances を購入し、アカウント A, B, C で共有設定を有効、アカウント D, E の共有設定を無効とする場合、次のようにになります。

- ・ アカウント A の Reserved Instances は、まずアカウント A に適用され、未使用の Reserved Instances がある場合、アカウント B, C に適用されます
- ・ アカウント D に Reserved Instances がある場合、他のアカウントに共有されません
- ・ アカウント D の Reserved Instances をアカウント E にのみ共有するといった設定はできません
- ・ 組織をまたいだ共有もできません

Organization X



Organization Y



購入・設定



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

マネジメントコンソールからの Reserved Instances の購入について

注意事項

- ・ サービスごとに購入画面や選択できるオプションが異なります
- ・ レビュー画面に遷移せずに、購入ページから直接購入完了となる場合もあります
- ・ リージョンはあらかじめマネジメントコンソールで該当のリージョンを選択する必要があります
- ・ インスタンスタイプ・プラットフォーム・エンジン・台数・支払いオプションなどそれぞれの条件をレビュータイミングで入念に確認するようお願い致します

EC2 Reserved Instances の購入

1. EC2 のページより、「リザーブドインスタンス」を選択します
2. 「リザーブドインスタンスの購入」を選択します
3. 「プラットフォーム」、「テナンシー」、「提供クラス」、「インスタンスタイプ」、「期間」、「お支払い方法」を選択します
4. (Option) ゾーン RI を購入する場合は、「キャパシティ予約のある提供タイプのみ表示」をオンにします
5. 「検索」を選択します
6. 「希望数量」で購入数を選択します
7. 購入対象の RI 行の「カートに入れる」を選択します
8. 「カートを見る」を選択します
9. (Option) 「以下を注文」カラムが“現在”になると即時購入となります。購入予約キューにいれるには“現在”を選択し、日付を選択してください
10. レビューします
11. 「すべて注文」を選択します

リザーブドインスタンスの購入

検索条件: プラットフォーム: Linux/UNIX, テナンシー: デフォルト, 提供クラス: すべて, インスタンスタイプ: t3.micro, 期間: すべて, お支払い方法: すべて

リザーブドインスタンスの提供タイプを検索するには、以下の手順を実行します。

1. 提供タイプの詳細を指定して、[検索] をクリックしてください。
2. リザーブドインスタンスを選択し、希望数量を指定して、[追加] でカートに追加してください。
3. [カードを表示] をクリックすると、リザーブドインスタンスを購入する前にカードを確認できます。
4. 購入を完了するには、[注文] をクリックします。

注意: 金額に税が加算されることがあります。

リザーブドインスタンスマーケットプレイスを通じて販売されるリザーブドインスタンスは、Amazon ワーク サービスによって販売されるものと同じですが、料金と期間が異なる場合があります。リザーブドインスタンスマーケットプレイスの詳細については、リザーブドインスタンスマーケットプレイスをクリックしてください。

現在、カードにアイテムがありません。

キャンセル カートを見る

販売者	期間	実質レート	前払い料金	1時間あたりのレート	お支払い方法	提供クラス	提供可能数量	希望数量	1時間あたりの正規化された単位	カートに入れる
AWS	12 か月	\$0.039	\$345.00	\$0.00	全前払い	スタンダード	無制限	1	4	カートに入れる
AWS	12 か月	\$0.045	\$396.00	\$0.00	全前払い	コンバティブル	無制限	1	4	カートに入れる
AWS	36 か月	\$0.025	\$664.00	\$0.00	全前払い	スタンダード	無制限	1	4	カートに入れる
AWS	36 か月	\$0.030	\$797.00	\$0.00	全前払い	コンバティブル	無制限	1	4	カートに入れる

お客様のカート: 1 個のリザーブドインスタンス、現在の合計金額: \$396.00
毎月の定期コスト平均: \$0.00
金額に税が加算されることがあります。

キャンセル カートを見る

リザーブドインスタンスの購入

注文概要: AWS Savings Plan は、Amazon EC2 インスタンスの使用コストに対して割引を提供する、使いやすく、柔軟な料金モデルです。今すぐ Savings Plan を開始して、Amazon EC2 インスタンスの使用コストを節約してください。詳細は[こちら](#)。

ショッピングカート

注文するアイテム	提供クラス	リージョン	前払い料金	1時間あたりの料金	以下を注文	数量
全前払い Linux/UNIX t4g.large 12 か月 支払条件: 前払い 販売者: Amazon 総額: \$396.00	コンバティブル	米国 (バージニア北部)	\$396.00	\$0.00	現在	1

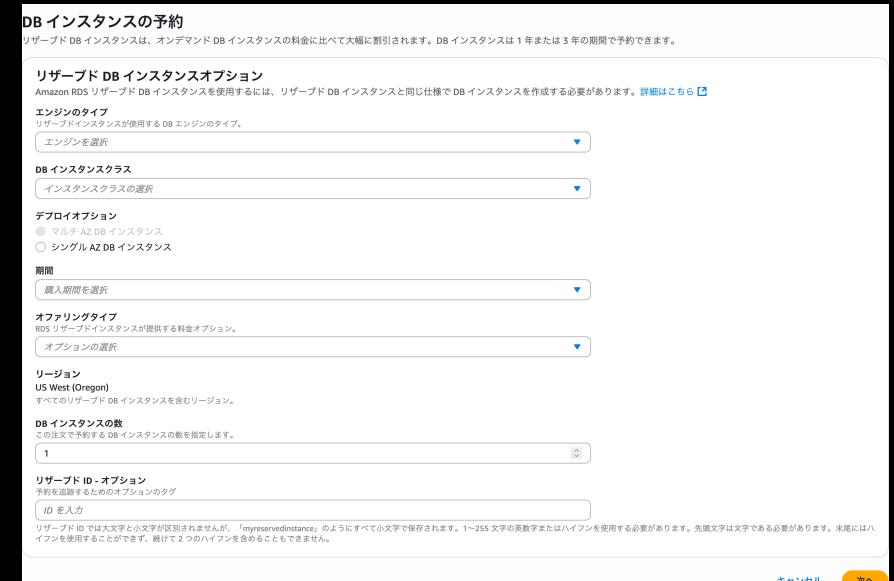
お客様のカート: 1 個のリザーブドインスタンス、現在の合計金額: \$396.00
毎月の定期コスト平均: \$0.00
金額に税が加算されることがあります。

選択したアイテムを削除 (0) もう一度カートに入れる すべて注文
すべて注文を選択すると、リザーブドインスタンスの注文が送信され、該当する前払い料金が値段に請求されます。



Aurora / RDS Reserved Instances の購入

1. Aurora and RDS のページより、「リザーブドインスタンス」を選択します
2. 「リザーブド DB インスタンスを購入」を選択します
3. 「エンジンのタイプ」で DB エンジンとライセンスタイプを選択します
4. 「DB インスタンスクラス」でインスタンスクラスを選択します
5. 「デプロイオプション」でシングル AZ またはマルチ AZ を選択します
 - DB エンジンによってはシングル AZ のみとなります
6. 「期間」で条件を選択します
7. 「オファーリングタイプ」で支払いオプションを選択します
8. 「DB インスタンスの数」で購入数を選択します
 - デプロイオプションで選択したシングル AZ かマルチ AZ で必要数が異なります
9. (Option) リザーブド ID でトラッキングしやすいように識別子を入力します
10. 「次へ」を選択します
11. レビューします
12. 問題なければ、「リザーブドインスタンスの購入」を選択します



The screenshot shows the configuration page for a reserved DB instance. It includes fields for engine type (selected as MySQL), instance class (db.m5.large), deployment option (Multi-AZ), duration (1 year starting September 02, 2025), offer type (RDS reserved instance), and quantity (1). A note about reserved instance IDs is present.



The screenshot shows the review and purchase summary page. It lists the configuration details: 1 hour per instance unit, 8 instances, usage cost of \$0.219 USD per hour, and a total one-time payment of \$0.00 USD. A note about additional discounts applies.

RDS RI 購入画面



ElastiCache Reserved Nodes の購入

1. ElastiCache のページより、「リザーブドノード」を選択します
2. 「リザーブドノードを購入」を選択します
3. 「モード (Engine)」でエンジンを選択します
4. 「ノードのタイプ」でインスタンスタイプを選択します
5. 「期間」で条件を選択します
6. 「提供のタイプ」で支払いオプションを選択します
7. (Option) リザーブド ID でトラッキングしやすいように識別子を入力します
8. 「ノードの数」で購入数を入力します
9. レビューします
10. 問題なければ、「購入」を選択します



ElastiCache RI 購入画面

Redshift Reserved Nodes の購入

1. Redshift のページより、「クラスター」->「リザーブドノード」を選択します
2. 「リザーブドノードを購入」を選択します
3. 「ノードの種類」でノードを選択します
4. 「期間」で条件を選択します
5. 「ノードあたりの支払い」で支払いオプションを選択します
6. 「ノードの数」で購入数を入力します
7. レビューします
8. 問題なければ、下部のチェックボックをチェック後、「購入」を選択します

The screenshot shows the 'Purchase reserved nodes' page. At the top, it says 'リザーブドノードを購入' with a '情報' link. Below that, '提供を選択する' (Select provider) and '以下のおpcionから選択し、この注文でリザベーションするノードの数を入力します。完了したら、リザベーション料金を確認し、[Purchase reserved nodes]を選択して注文を送信します。' (Select from the following options and enter the number of nodes to reserve. Once completed, review the reservation fee and select [Purchase reserved nodes] to send the order). It shows 'ノードの種類' (Node Type) as 'ra3.16xlarge' and 'ストレージタイプ: MANAGED マネージド型ストレージ: 最大 128 TB/ノード'. Under '期間' (Term), '1年' (1 year) is selected. The 'ノードあたりの支払い' (Payment per node) section compares three options: 'All Upfront' (\$75,392.00), 'Partially Upfront' (\$58,267.00), and 'No Upfront' (\$6,663.44). The '料金' (Cost) section shows a quantity input field with '1以上を入力します' (Enter 1 or more) and a radio button for '前払い' (Upfront). At the bottom, there's a note about account linking and a warning about additional taxes. The bottom right has 'キャンセル' (Cancel) and 'リザーブドノードを購入' (Purchase reserved nodes) buttons.

Redshift RI 購入画面

Redshift Serverless reservations の購入

1. Redshift Serverless のページより、「Serverless reservations」を選択します
2. 「Purchase Serverless reservations」を選択します
3. 「Serverless reservation」で購入する RPU 数を入力します
4. 「Payment type」で支払いオプションを選択します
5. レビューします
6. 問題なければ「Purchase Serverless reservations」を選択します

Purchase Serverless reservations 情報

Purchase Redshift processing unit (RPU) at a discount when you commit to a usage amount for a year. An RPU is a measure of data warehouse compute resources. To view your usage and decide on the amount of reserved capacity you need, go to [Cost Explorer](#).

Serverless reservations

Serverless reservation
Enter the reserved RPU to purchase for this AWS account.

Enter a number RPUs
The value must range from 1 to any number.

Reservation term

Reservation term
1 Year

Payment type

Payment type
The upfront cost is paid once, when the reservation is purchased. The monthly cost is for comparison only and represents the total hourly cost for 30 days.

All Upfront Results in a 24% discount
Full upfront payment for the duration of the reservation.

No Upfront Results in a 20% discount
Monthly installments for the duration of the reservation.

The discount is applied to the price you currently pay for on-demand RPUs, which is \$0.36 per RPU hour. The comparison table shows the hourly savings for each payment type. For more information, see the [Cost Explorer](#).

Payment type comparison 情報

The price comparison in RPU between an upfront payment and a monthly payment.

Payment type	Upfront	Monthly	Effective hourly	Hourly discount
No Upfront	\$ 0.00	\$ 210.24	\$ 0.29	\$ 0.07
All Upfront	\$ 2400.00	\$ 0.00	\$ 0.27	\$ 0.09

Purchase summary

Serverless reservation	Reservation term	Payment type	Upfront payment
-	1年	All Upfront	\$ 0.00
Monthly payment \$ 0.00	Effective hourly \$ 0.00	Hourly discount \$ 0.00	

[キャンセル](#) [Purchase Serverless reservations](#)

Redshift Serverless RI 購入画面

OpenSearch Service Reserved Instances の購入

1. OpenSearch Service のページより、「Reserved Instance leases」を選択します
2. 「リザーブドインスタンスを注文」を選択します
3. 「予約名」に一意の名前を入力します
4. 「インスタンスタイプ」でインスタンスタイプを選択します
5. 「インスタンス数量」で購入数を入力します
6. 「期間」で条件を選択します
7. 「お支払い方法 (USD) 」で支払いオプションを選択します
8. 「次へ」を選択します
9. レビューします
10. 問題なければ、「順番 (Order) 」を選択し購入します

予約を指定

リザーブドインスタンスのリース

予約名
現在の AWS リージョンの AWS アカウントが所有しているすべての予約に一意の名前を入力します。

予約名には 5~64 文字を含める必要があります。有効な文字は小文字の a-z、0-9、および - (ハイフン) です。

リージョン
予約は現在の AWS リージョンに関連付けられています。右上の地域メニューを使用して別の地域に切り替えます。
 us-west-2

インスタンスタイプ
予約するインスタンスタイプを選択します。

インスタンス数量
予約するインスタンスの数を入力します。

インスタンス数量は 0 より大きい数値でなければなりません。

支払いプラン (USD)

料金は、期間と支払いオプションによって異なります。

期間
1 年間は 8,760 時間に相当します。3 年間は 26,280 時間に相当します。

1 年 3 年

お支払い方法 (USD)
前払いなし、一部前払い、または全額前払いを選択できます。残り (ある場合) は、インスタンスの使用状況に関係なく月単位で請求されます。金額に税額が加算されることがあります。

計画	インスタンスごとに前払い	前払い総額	インスタンスあたりの時間料金
<input type="radio"/> 全前払い	-	-	-
<input type="radio"/> 一部前払い	-	-	-
<input type="radio"/> 前払いなし	-	-	-

[キャンセル](#) [次へ](#)

OpenSearch Service RI 購入画面

MemoryDB Reserved Nodes の購入

1. MemoryDB のページより、「リザーブドノード」を選択します
2. 「リザーブドノードを購入」を選択します
3. 「ノードタイプ」でノードを選択します
4. 「数量」で購入数を入力します
5. 「期間」で条件を選択します
6. 「オファーリングタイプ」で支払いオプションを選択します
7. (オプション) 「予約 ID」で識別子を入力します
8. レビューします
9. 問題なれば、「リザーブドノードを購入」を選択し購入します

リザーブドノード設定

リザーブドノードには、ノードのタイプと予約期間(1年または3年)に応じた前払い料金が請求されます。

ノードタイプ
デプロイするノードのタイプと関連付けられたメモリサイズ。

ノードタイプ

数量
追加するノードの数は、使用可能なクォータによって異なります。詳細は[こちら](#)

1

期間
リザーブドノードの有効期間の長さ。

1年
リザーブドノードの最小期間。

3年
1年の予約期間よりも低コストです。

オファーリングタイプ | 詳細
リザーブドノードオファーリングのタイプ。

すべて前払い
最大の割引で、すべてを前払いします。

一部前払い
一部前払い、および割引された時間当たりの料金。

前払いなし
前払いなしで、時間単位の料金をお支払いいただけます。

予約 ID - オプション
予約 ID を入力

予約 ID は大文字と小文字を区別しませんが、すべて小文字で保存されます(例: myreservednode)。最初の文字は文字である必要があります。1~63 文字の英数字またはハイフンを含める必要があります。末尾をハイフンにしたり、2つの連続するハイフンを含めたりすることはできません。

タグ
タグを使用して、リザーブドノードを検索およびフィルタリングしたり、AWS コストを追跡したりできます。

リザーブドノードに関連付けられたタグはありません。

新しいタグを追加

さらに 50 個のタグを追加できます。

予約の概要

購入したノードの数と期間が別々に支払いの詳細が表示されます。

リージョン	米国西部(オレゴン)
ノードタイプ	-
数量	1
期間	1年
オファーリングタイプ	すべて前払い
-括払い(ノードごと)	-

使用料*

- 前払いの合計

使用料は毎月の請求書に表示されます。
* 追加の税金が適用される場合があります

○ 時間当たりの料金は、ノードの使用量に関係なく、購入したリザーブドノード期間中の各ノードについて、時間ごとに課金されます。

□ 私は、このリザーブドノードを購入することにより、この AWS アカウントに関連付けられた支払い方法を使用して上記の料金が請求されることを確認します。

キャンセル リザーブドノードを購入

MemoryDB RI 購入画面



DynamoDB Reserved Capacity の購入

1. DynamoDB のページより、「リザーブドキャパシティー」を選択します
2. 「リザーブドキャパシティーの購入」を選択します
3. 「プロビジョンドキャパシティータイプ」で容量タイプを選択します
4. 「期間」で条件を選択します
5. 「プロビジョンドキャパシティーユニット」で購入ユニット数を入力します
6. レビューします
7. 問題なければ、「リザーブドキャパシティーの購入」を選択し購入します



DynamoDB RI 購入画面

(参考) RDS Reserved Instances の CLI を用いた購入方法

1. describe-reserved-db-instances-offerings

- 条件を指定し、ReservedDBInstancesOfferingId を取得する

```
$ aws rds describe-reserved-db-instances-offerings --db-instance-class db.r8g.2xlarge --duration 1 --region us-west-2 --multi-az --product-description mysql --offering-type "All Upfront"
{
  "ReservedDBInstancesOfferings": [
    {
      "ReservedDBInstancesOfferingId": "99afb0e9-9ffa-40e8-ba44-3c4f0c9f9acf",
      "DBInstanceClass": "db.r8g.2xlarge",
```

2. purchase-reserved-db-instances-offering

- 1 で取得した ReservedDBInstancesOfferingId を指定して購入する

```
$ aws rds purchase-reserved-db-instances-offering --reserved-db-instances-offering-id 99afb0e9-9ffa-40e8-ba44-3c4f0c9f9acf --reserved-db-instance-id ri-for-blackbelt-2025 --db-instance-count 4
```

割引共有の設定

管理アカウントから共有の設定を変更できます。

- ・ [請求とコスト管理] -> [請求設定] から共有を有効化・無効化することができます
- ・ 新しく作成されたメンバーアカウントとの共有をデフォルト有効にするかどうかを設定できます

共有が有効になっている場合のコストの見え方と請求は次に従います。

- ・ Cost Explorer などに表示される推定のコストは、その時点の共有の設定に基づきます
- ・ 最終的な請求に関しては、月の最終日の午後 11 時 59 分 59 秒 (UTC 時) に指定されている共有の設定に基づいて決定されます

The screenshot shows the 'Shared Settings' page for AWS Cost Explorer. At the top, it displays the title 'リザーブドインスタンスおよび Savings Plans の割引共有設定' and a note about new member accounts having default sharing enabled. Below this, there's a section for 'Account-specific settings' with a search bar and two accounts listed: 'accountX' and 'accountY'. Each account has its ID and a 'Sharing' status indicator. On the right side, there are buttons for 'Edit' and 'Download CSV history', along with navigation controls and a settings gear icon.

アカウント名	アカウント ID	共有設定
accountX	123456789012	有効化済み
accountY	987654321098	有効化済み

共有設定画面



アラートサブスクリプション

Reserved Instances の有効期限が近づいている場合などのタイミングでメールで通知することができます。

[請求とコスト管理] -> [予約] -> [概要] -> [アラートサブスクリプションを管理] から設定できます。

アラートは、Amazon EC2、Amazon RDS、Amazon Redshift、Amazon ElastiCache、および Amazon OpenSearch Service でサポートされます。



アラートサブスクリプション設定画面

アクセスコントロール

IAM ポリシーにより、個々のユーザーの Reserved Instances の購入や閲覧などを管理できます。サービスによってアクション名が異なります。

各サービス個別の詳細は次のドキュメントをご参照ください。

- [https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/service-authorization/latest/reference\(reference.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/service-authorization/latest/reference(reference.html)

アクション例	概要
rds:DescribeReservedDBInstances	このアカウントのリザーブド DB インスタンス、または指定されたリザーブド DB インスタンスに関する情報を返すアクセス許可を付与
rds:DescribeReservedDBInstancesOfferings	利用可能なリザーブド DB インスタンスを一覧表示する許可を付与
rds:PurchaseReservedDBInstancesOffering	リザーブド DB インスタンスを購入する許可を付与
elasticache:DescribeReservedCacheNodes	購入したリザーブドキャッシュノードに関する情報を一覧表示する許可を付与
elasticache:DescribeReservedCacheNodesOfferings	利用可能なリザーブドキャッシュノードを一覧表示する許可を付与
elasticache:PurchaseReservedCacheNodesOffering	リザーブドキャッシュノードの提供を購入する許可を付与

購入計画



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

事前調査

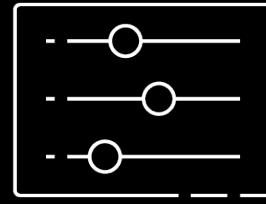
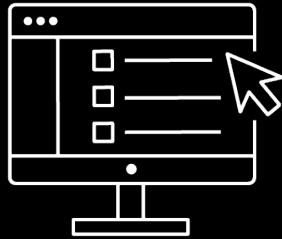
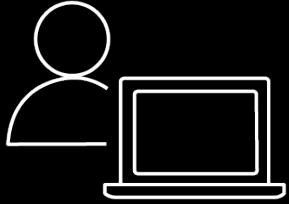


リソース調査



ヒアリング

購入条件の選択



購入アカウント

- ・ 個別のメンバーアカウントでの購入
- ・ 管理アカウントや購入専用アカウントでの購入

タイプ・オプション

- ・ インスタンスファミリー
- ・ エンジン
- ・ 支払いオプション

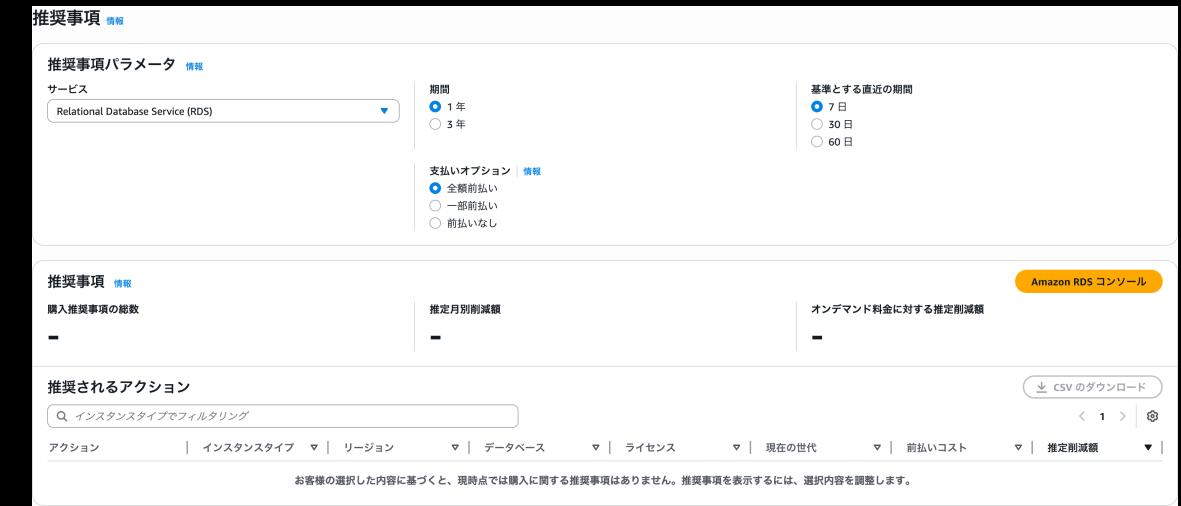
サイズ・購入数

- ・ サイズ
- ・ 購入数

推奨事項

推奨事項では、特定期間中におけるリソースの使用状況を特定し、削減見込み額が最大になるように、Reserved Instances の最適な数を提供します。サイズの柔軟性のあるサービスでは最小サイズのインスタンスが推奨されます。

推奨事項での購入が適切でない場合もあります。コスト最適化が進んでいない状況や今後リソースの停止が見込まれる場合はオーバーコミットメントとなるリスクがあります。



推奨事項画面例

損益分岐点

東京リージョンで 1 年、全額前払いとし db.m7g.xlarge を対象とした場合の 1 年間の損益分岐点の例です。

- オンデマンド料金は、 $\$0.234 * 730 \text{ 時間} * 12 \text{ヶ月} = \$2,049.84$
- Reserved Instance 料金は、\$1,498.00
- 損益分岐率は、 $1,498.00 / 2,049.84 = 0.73$
- 損益分岐点は、 $0.73 * 730 \text{ 時間} * 12 \text{ヶ月} = 6394.80 \text{ 時間}$

となり、1 年間の db.m7g.xlarge の起動時間が 6394.80 時間を超える（概ね 9 ヶ月程度）場合は Reserved Instances の方が得に利用できます。

オンデマンド料金および Reserved Instances 料金は AWS Pricing Calculator などでご確認ください

- <https://calculator.aws/>

購入後のモニタリング

インベントリ

[請求とコスト管理] -> [予約] -> [概要]から購入済みの Reserved Instances 一覧を確認できます。

今後 30 日以内に有効期限が切れるものを確認することができます。

The screenshot shows the AWS Reserved Instances Inventory page. At the top, there are summary statistics:

予約総数	純節約額 (過去 30 日間)	最高の節約の機会	失効予定 (今後 30 日間)
2	-\$52.15	-	0

Below this is a section titled "予約インベントリ" (Reservation Inventory) showing a single item:

サービス	所有している予約	失効予定 (今後 30 日間)	純節約額 (過去 30 日間)
Amazon Relational Database Service	2	0	-\$52.15

There is also a "割引サービス" (Discount Services) section which is currently empty.

At the bottom, there is a "最近アクセスされた予約レポート" (Recently Accessed Reservation Report) section which is also empty.

インベントリ画面

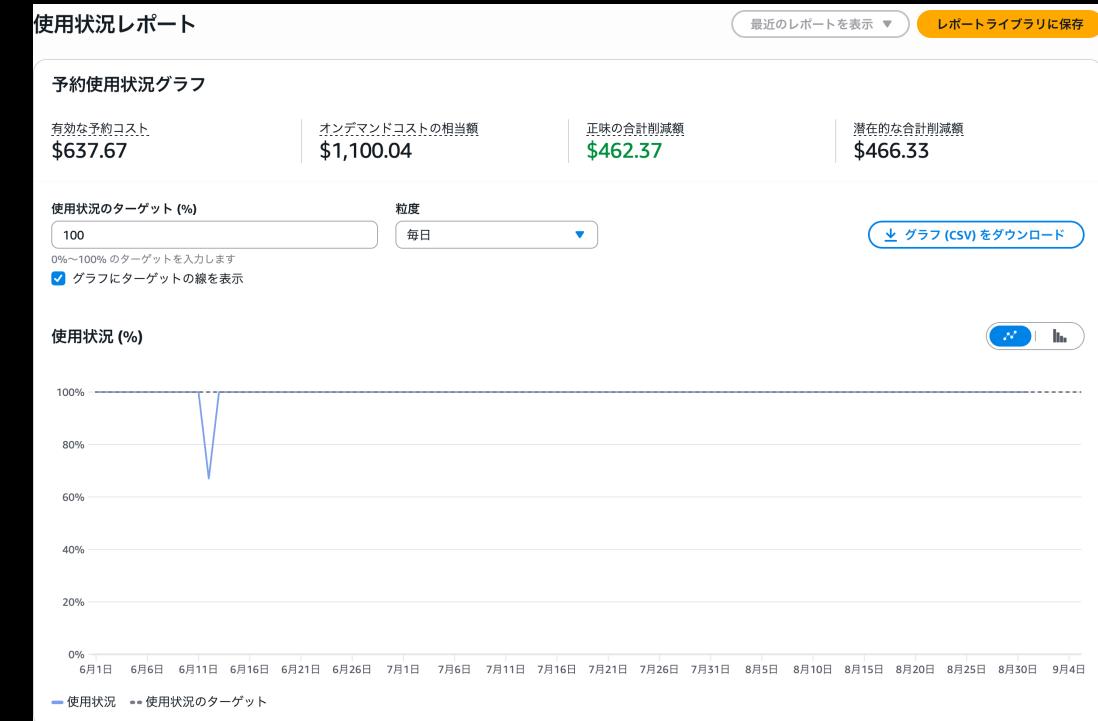


使用状況

使用率とは、Reserved Instances が利用された割合を示す指標です。

使用状況レポートの上段の各項目は次となります。

- **有効な予約コスト**
 - Reserved Instances の金額
 - > 前払いした場合でも選択した期間で按分した金額となります
- **オンデマンドコストの相当額**
 - オンデマンド料金で計算した場合の金額
- **正味の合計削減額**
 - オンデマンド支出の相当額 – 有効な予約コスト、で算出される Reserved Instances によるコスト削減効果
- **潜在的な合計削減額**
 - Reserved Instances が 100% 利用された場合の削減額



項目	値
アカウント名	XXXX

使用状況レポート画面

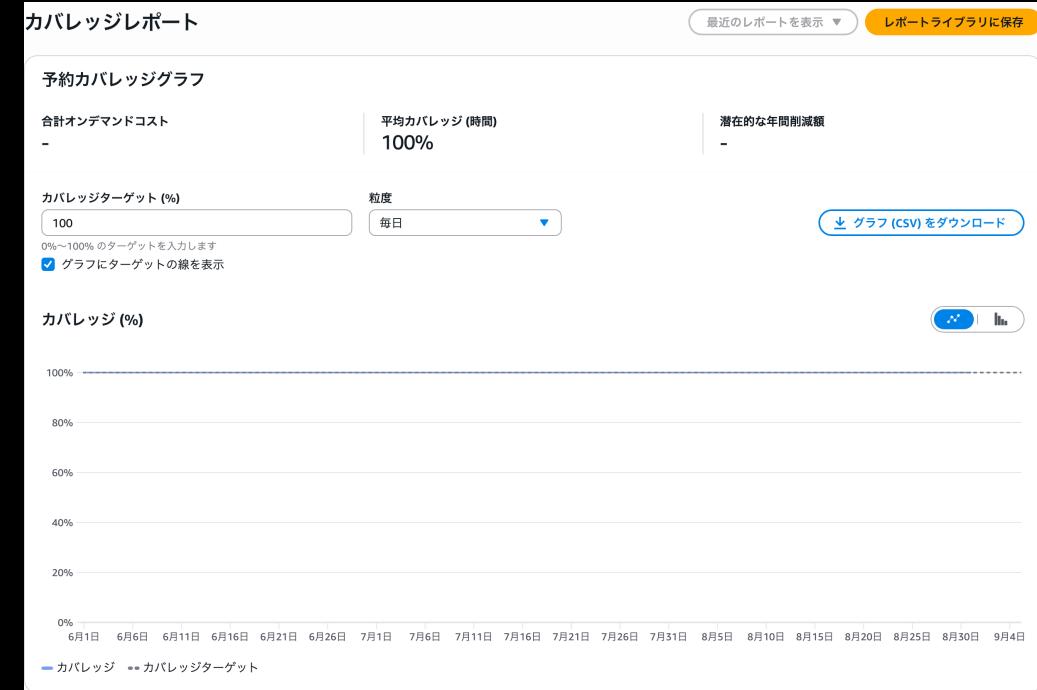
カバレッジ

カバレッジとは、Reserved Instances の対象であるリソースの利用時間のうち Reserved Instances でカバーしている割合です。

カバレッジレポートの上段の各項目は次となります。

- **合計オンデマンドコスト**
 - オンデマンド料金でお支払いいただいた金額
- **平均カバレッジ（時間）**
 - 日付範囲の平均カバー率
- **潜在的な年間削減額**
 - 推奨事項の Reserved Instances を購入した場合に削減可能な金額

下部のテーブルの内訳から、各リソース個別の Reserved Instances の適用状況が把握できます。



予約カバレッジの内訳 (2)						テーブル (CSV) をダウンロード	
	インスタンスクラス	データベースエンジン	デプロイオプション	リージョン	平均カバレッジ	予約対象時間	オンデマンド時間
<input type="checkbox"/>	db.r5.large	PostgreSQL	Multi-AZ	米国東部 (バージニア北部)	100%	2,200.01	0
<input type="checkbox"/>	db.r5.large	PostgreSQL	Single-AZ	米国東部 (バージニア北部)	100%	0.14	0

カバレッジレポート画面

AWS Budgets による追跡

AWS Budgets を利用し、Reserved Instances の使用率とカバレッジを追跡できます。使用率またはカバレッジが下がっている場合に通知できるため、無駄なく利用したい場合に設定しご利用ください。

予算タイプ

- コスト予算 - 推奨**
指定された金額に照らしてコストを監視し、ユーザー定義のしきい値に達したときにアラートを受け取ります。コスト予算を使用するときは、設定する予算額が、予想されるクラウド支出を表します。例えば、ある事業部門に対してコスト予算を設定してから、関連付けられたメンバーアカウントなどの追加のパラメータを設定できます。
- 使用量予算**
指定された 1 つ、または複数の使用タイプまたは使用タイプグループの使用量を監視し、ユーザー定義のしきい値に達したときにアラートを受け取ります。使用量予算を使用するときは、予算額が、予想される使用量を表します。例えば、使用量予算を使用して、Amazon EC2 や Amazon S3 などの特定のサービスの使用量を監視できます。
- Savings Plans の予算**
Savings Plans に関連付けられている使用率またはカバレッジを追跡して、それらの割合がユーザー定義のしきい値を下回った場合にアラートを受け取ります。カバレッジターゲットを設定すると、Savings Plans の対象となるインスタンスの使用量を確認できます。使用率ターゲットを設定すると、Savings Plans が使用されていない、または使用率が低いかどうかを確認できます。
- 予約予算**
予約に関連付けられている使用率またはカバレッジを追跡して、それらの割合がユーザー定義のしきい値を下回った場合にアラートを受け取ります。カバレッジターゲットを設定すると、予約の対象となるインスタンスの使用量を確認できます。使用率ターゲットを設定すると、予約が使用されていない、または使用率が低いかどうかを確認できます。予約アラートは、Amazon EC2、Amazon RDS、Amazon Redshift、Amazon ElastiCache、および Amazon Elasticsearch の予約でサポートされています。

予算タイプ

使用率のしきい値

期間
日次予算は、予測アラート、または日次予算計画の有効化をサポートしません。

月

支出のモニタリング | 情報
予約に対する予算の設定に使用率 (%)、カバレッジ (%) のどちらを使用するかを選択します。

予約の使用率
使用率は、未使用または使用率が低い予約がないかどうかを測定します。

予約のカバレッジ
カバレッジは、予約の対象となっているインスタンスの使用量を測定します。

サービス
どのサービスに対して予算を設定しますか?

Relational Database Service (RDS)

使用率のしきい値 (%)
最低限必要と考える予約の使用率を、パーセント値で入力してください。

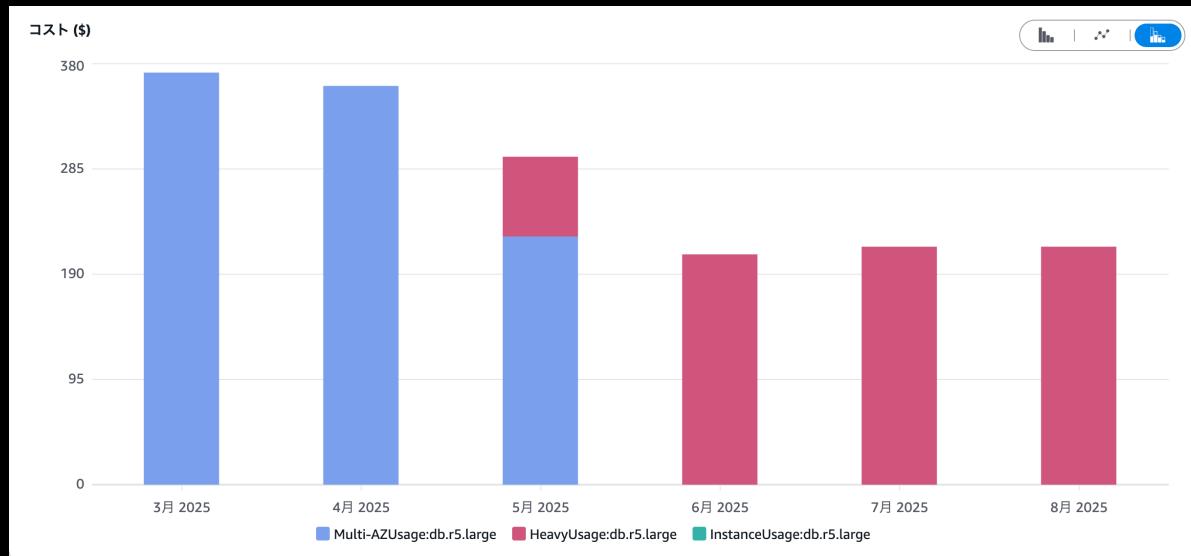
90 **① 推奨予算: 93.45% (前月に基づく)**

しきい値設定



Cost Explorer 使用タイプ

- 使用タイプには、オンデマンド料金を示す BoxUsage/NodeUsage/InstanceUsage/ESInstance などと Reserved Instances の料金を示す HeavyUsage があります
- グラフは、前払いなしで購入し毎月 Reserved Instances の料金が発生している例です



HeavyUsage 例



▼ グループ化の条件

ディメンション クリア

使用タイプ

サービス クリア

サービス を含む (1)

Relational Database Service (RDS) X

インスタンスタイプ クリア

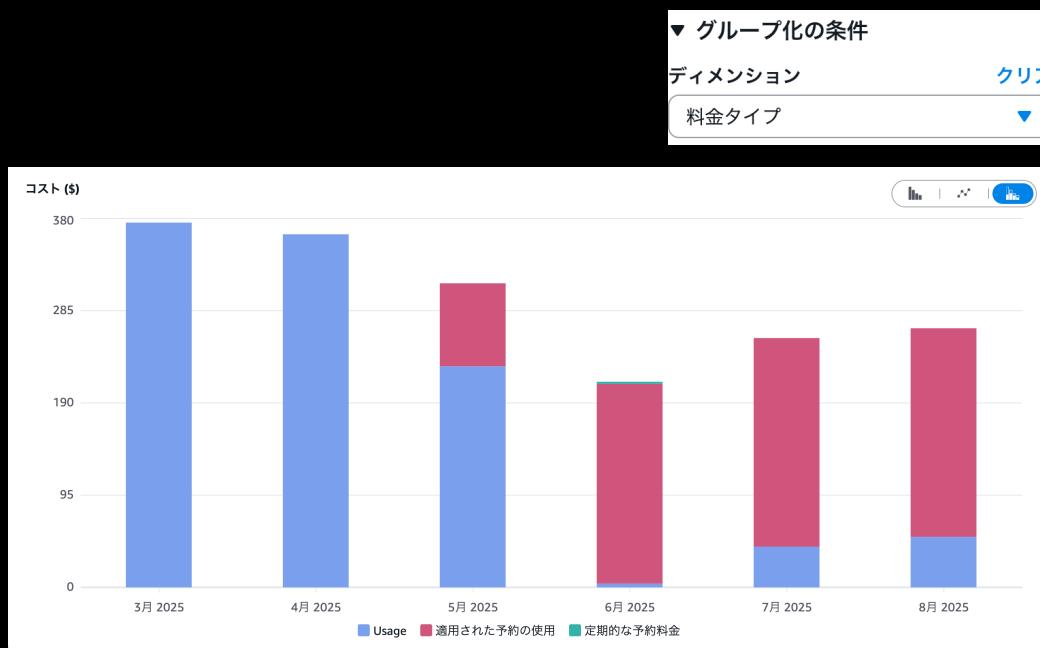
インスタンスタイプ を含む (1)

db.r5.large X

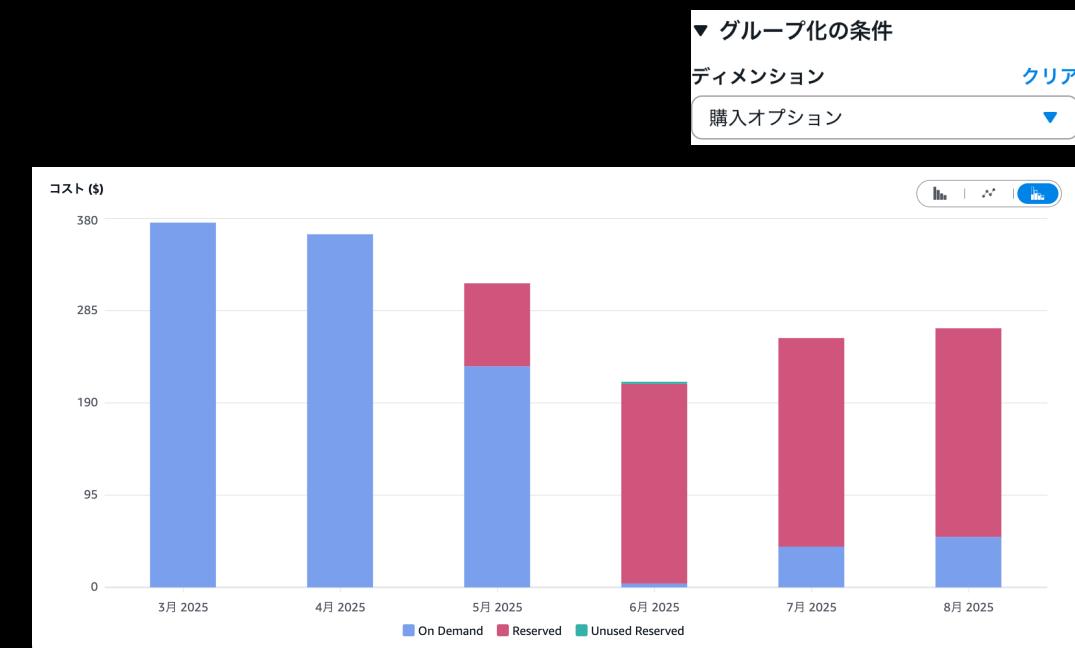
フィルタ例

Cost Explorer 料金タイプ・購入オプション

- 料金タイプの適用された予約の使用および購入オプションの Reserved にて、Reserved Instances の料金の比率などを確認できます
- 全額前払いなどの場合は、前払いの予約料金として表示されます。償却コスト表示にすると、毎月の料金の比率を確認できます



料金タイプ例



購入オプション例

CUR (Cost and Usage Reports) 購入金額

Reserved Instances の前払い料金（全額前払い、一部前払い）

- lineItem/LineItemType が **Fee** となります。

lineItem/LineItem Type	lineItem/ProductCode	lineItem/UsageStartDate	lineItem/LineItemDescription	lineItem/UnblendedCost	Reservation/ReservationARN
Fee	AmazonEC2	2016-01-01T00:00:00Z	Sign up charge for subscription: 363836886, planId: 1026576	68	arn:aws:ec2:us-east-1:123456789012:reserved-instances/f8c204c1-dd48-43f1-adb8-f88aa61e0dea

Reserved Instances の定期的な料金（一部前払い、前払いなし）

- lineItem/LineItemType が **RIFee** となります。

lineItem/LineItem Type	lineItem/ProductCode	lineItem/UsageStartDate	lineItem/UsageType	lineItem/LineItemDescription	lineItem/Normalizatio nFactor	Reservation/Reservation ARN	Reservation /TotalReser vedunits	Reservation/TotalR eservedNormalized Units
RIFee	AmazonEC2	2016-01-01T00:00:00Z	USD 0.0309 hourly fee per Linux/UNIX (Amazon VPC), m4.large instance	4	23	arn:aws:ec2:us-east-1:123456789012:reserved-instances/f8c204c1-dd48-43f1-adb8-f88aa61e0dea	744	2976

CUR (Cost and Usage Reports) 適用状況

Reserved Instances が適用されたリソース

- lineItem/LineItemType が **DiscountedUsage** となります。

lineItem/LineItemType	lineItem/UsageAccountId	lineItem/ProductCode	lineItem/UsageType	lineItem/ResourceId	lineItem/UnblendedCost	pricing/publicOnDemandCost	reservation/EffectiveCost	reservation/ReservationARN
DiscountedUsage	123456789012	AmazonES	EU-ESInstance:c6g.large	arn:aws:es:eu-west-1:XXXXX:domain/4JR4ubXwfb70	0	0.381	0.264	arn:aws:es:eu-west-1:XXXXX:MvJf2R0JhsYA

チャージバック

- reservation/EffectiveCost がリソースで利用された Reserved Instances の実質的な金額です

費用削減額

- (pricing/publicOnDemandCost) - (reservation/EffectiveCost) となります

(参考) CUR (Cost and Usage Reports) with Amazon Q Developer

- AWS API MCP サーバーと AWS Documentation MCP サーバーを利用して正しいクエリを作成し分析できる場合もあります

```
> athenaの cid_data_export データベースの cur2 テーブルを確認してください。
```

```
🛠️ Using tool: call_aws (trusted) from mcp server awslabs.aws-api-mcp-server
```

```
> Athena の cid_data_export データベースの cur2 テーブルの構造を確認しました。このテーブル
```

```
## cur2 テーブルの主要カラム構成
```

```
### 請求情報 (Bill)
```

- bill_bill_type - 請求タイプ
- bill_billing_entity - 請求エンティティ
- bill_billing_period_start_date/end_date - 請求期間

```
> RI の arn を 1つ抽出し、その RI による 2025/6 の費用削減額を算出してください
```

```
> ## RI による 2025 年 6 月の費用削減額
```

```
抽出した RI ARN:
```

```
arn:aws:rds:us-east-1:123456789012:ri:ri-2025-05-21-14-30-47-244
```

```
2025 年 6 月の費用削減結果:
```

- **費用削減額**: \$356.04
- **オンデマンド料金**: \$356.04
- **RI実際コスト**: \$0.00

```
この RDS の Reserved Instance は、2025 年 6 月において **$356.04 の費用削減** を実現しています。  
ことを示しています。
```

間違った結果例



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

```
> 費用算出の計算方法が正しいか aws ドキュメントを確認し、間違っていたら修正しましょう
```

```
🛠️ Using tool: search_documentation from mcp server awslabs.aws-documentation-mcp-server
```

```
> AWS ドキュメントを確認した結果、私の最初の計算方法に問題があることが分かりました。正しい方
```

```
🛠️ Using tool: call_aws (trusted) from mcp server awslabs.aws-api-mcp-server
```

```
> ## 修正された RI による 2025 年 6 月の費用削減額
```

```
AWS ドキュメントを確認し、正しい計算方法で再算出しました。
```

```
抽出した RI ARN:
```

```
arn:aws:rds:us-east-1:123456789012:ri:ri-2025-05-21-14-30-47-244
```

```
正しい 2025 年 6 月の費用削減結果:
```

- **実際の費用削減額**: \$150.39
- **オンデマンド料金**: \$356.04
- **RI実効コスト**: \$205.65
- **削減率**: 42.2%

```
### 計算方法の修正点
```

```
間違った方法（最初の計算）:
```

- pricing_public_on_demand_cost - line_item_unblended_cost を使用
- line_item_unblended_cost が \$0 だったため、削減額が過大評価された

正しい結果例

制限・注意事項

制限・注意事項

クオータ

EC2	RDS	Redshift	ElastiCache	MemoryDB	DynamoDB
<ul style="list-style-type: none">リージョナル Reserved Instances<ul style="list-style-type: none">リージョンあたり 20/月ゾーン Reserved Instances<ul style="list-style-type: none">アベイラビリティーゾーンあたり 20/月	リージョンあたり 40	リージョンあたり 200	リージョンあたり 300	リージョンあたり 300	1,000,000 のプロビジョンドキャパシティユニット (WCU, RCUの組み合わせ)

注意事項

- 購入後にキャンセルできません
- 自動更新機能はありません

まとめ

まとめ

Reserved Instances は EC2, RDS など複数のサービスに適用可能な一部柔軟性に制限のあるコミットメントベースのディスカウントプランです。

- 1年または3年間の利用をコミットすることと引き換えに、最大 75% の割引を受けられます
- 長期的かつ定常的なワークロードに向いています
購入前後の検討・モニタリングも重要です。
- 購入計画では、購入アカウント、タイプ・オプション、サイズ・購入数を検討します
- 購入後は、使用率やカバレッジをモニタリングし中長期的な観点でコスト最適化を実践します

参考資料

- 各サービスドキュメント
 - EC2
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/ec2-reserved-instances.html
 - RDS
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonRDS/latest/UserGuide/USER_WorkingWithReservedDBInstances.html
 - ElastiCache
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AmazonElastiCache/latest/dg/CacheNodes.Reserved.html
 - MemoryDB
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/memorydb/latest/devguide/nodes.reservednodes.html
 - Redshift
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/redshift/latest/mgmt/purchase-reserved-node-instance.html
 - OpenSearch Service
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/opensearch-service/latest/developerguide/ri.html
 - DynamoDB
 - <https://docs.aws.amazon.com/amazondynamodb/latest/developerguide/reserved-capacity.html>

AWS Black Belt Online Seminar とは

- ・ 「サービス別」「ソリューション別」「業種別」などのテーマに分け、
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が提供するオンラインセミナーシリーズです
- ・ AWS の技術担当者が、 AWS の各サービスやソリューションについてテーマごとに動画を公開します
- ・ 以下の URL より、過去のセミナー含めた資料などをダウンロードすることができます
 - > <https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>
 - > <https://www.youtube.com/playlist?list=PLzWGOASvSx6FlwIC2X1nObr1KcMCBBlqY>



ご感想は X (Twitter) へ！ハッシュタグは以下をご利用ください
#awsblackbelt

内容についての注意点

- ・ 本資料では資料作成時点のサービス内容および価格についてご説明しています。AWS のサービスは常にアップデートを続けているため、最新の情報は AWS 公式ウェブサイト (<https://aws.amazon.com/>) にてご確認ください
- ・ 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格と AWS 公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます
- ・ 価格は税抜表記となっています。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます
- ・ 技術的な内容に関しては、有料の [AWS サポート窓口](#)へお問い合わせください
- ・ 料金面でのお問い合わせに関しては、[カスタマーサポート窓口](#)へお問い合わせください (マネジメントコンソールへのログインが必要です)

Thank you!

